

資料 4

沖縄県総合交通体系基本計画改定に向けたスケジュール（想定）

R 7	R 8	R 9
-----	-----	-----

新・沖縄21世紀
ビジョン基本計画

中間評価

計画（案）

計画改定

交通体系基本計画

R4～R6分の
点検・評価

計画の総点検案等

計画見直し検討

反映

新たなモビリティ
構想 ※1

調査・検討

構想策定

※1： 戦後100年を迎えるにあたり、沖縄中南部都市圏が抱える交通に関する諸課題の解決を目指すとともに、次の世代の沖縄県民のさらなるゆたかな暮らしの実現に向けて、県民の参加・協働によるビジョンリード型の構想

沖縄本島の陸上交通に関する新たなモビリティ構想（仮称）の概要



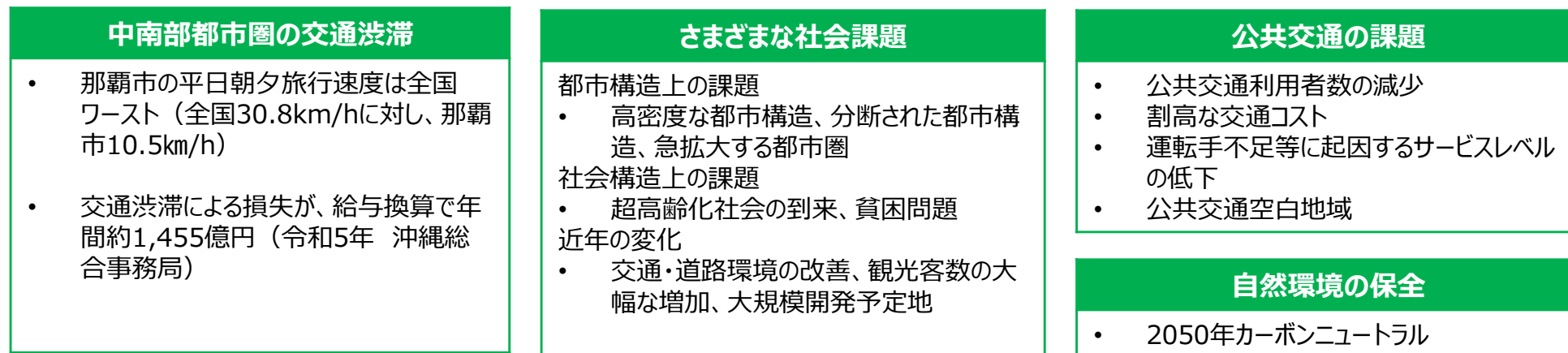
※以下内容は（案）のため、実施段階で変更の可能性があります。

沖縄県は、世界有数の自然環境やアジア諸国に隣接する地理的条件を有し、多様性に富んだ独自文化を育み、その歴史を刻んできました。

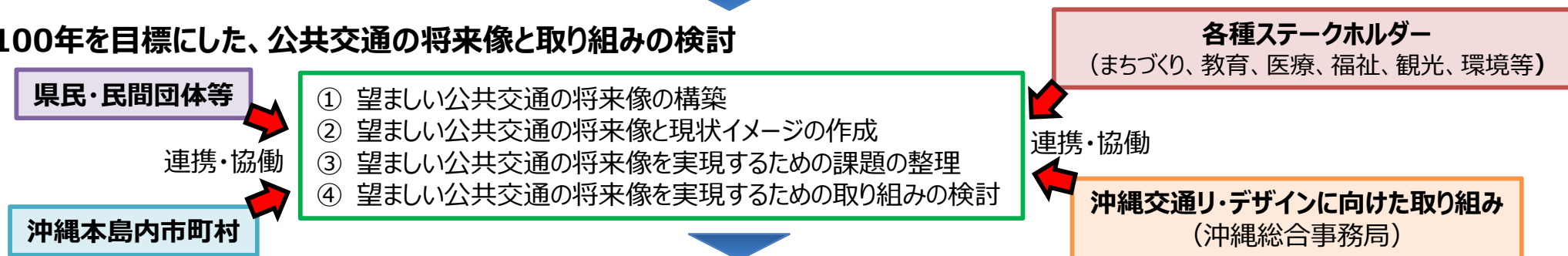
一方で、駐留軍用地による土地利用制約、地価の上昇、郊外化の進展、地方部の活力低下等と相まった過度なマイカー利用をもたらし、県民の豊かな生活環境創出に影響を及ぼしています。

特に、社会問題化している沖縄本島の陸上交通に関わる、慢性的な中南部都市圏の交通渋滞や、公共交通空白地域の解消に向け、令和7年度から、戦後100年の公共交通の将来像を描き、県民や、様々な民間団体等の声を取り入れたビジョンリード型の新たなモビリティ構想（仮称）の策定に着手してまいります。

沖縄本島をめぐる社会課題



戦後100年を目標にした、公共交通の将来像と取り組みの検討



戦後100年を目標にした、沖縄本島の陸上交通に関する新たなモビリティ構想の策定

QoL（Quality of Life：生活の質）の向上、地域経済活性化、カーボンニュートラル、世界から選ばれる持続可能な観光地 等